
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.198 2019/10/19

1 豚コレラマーカーククチンを接種した豚に由来する食品の安全性に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集

10月16日、内閣府食品安全委員会事務局評価第二課は食品安全委員会動物用医薬品専門調査会で検討された標記審議結果（案）についての意見・情報の募集を公表した。これは、農林水産大臣から求められた食品健康影響評価に対するものでその主な内容は次のとおり。締め切りは11月14日。

豚コレラマーカーククチンについて、主剤である豚コレラウイルス（CSFV）由来E2遺伝子導入牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）1型CP7_E2a1f株は、BVDV CP7の感染性cDNAクローンにおける抗原部位となるエンベロープの主要タンパクE2の遺伝子が、CSFV Alfort187株のE2の遺伝子に置換された弱毒生ワクチン株である。

CP7_E2a1f株が、BVDVのE2遺伝子をCSFVのE2遺伝子に人為的に置換したことによるCSFVの抗原性及び宿主親和性への変化以外に、新たな宿主親和性を獲得してヒトへの感染性を獲得する可能性は無視できる程度と考えた。

今回の評価対象である豚コレラマーカーククチン（Suvaxyn＝CSF Marker）は、EUにおいて野外株感染豚とワクチン接種豚との区別（DIVA：Differentiation of Infected from Vaccinated Animals）が可能となるよう開発された弱毒生ワクチンであり、2015年にEUで承認、米国では2016年に備蓄ワクチンとして承認されている。

http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.html

審議結果（案）

[http://www.fsc.go.jp/iken-](http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.data/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.pdf)

[bosyu/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.data/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.pdf](http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.data/pc1_doubutu_csfmarkervaccine_011016.pdf)